

【協力会社紹介】盛岡軌道工業株式会社



盛岡軌道工業は、2003年7月に設立し、今年は20周年を迎えるメモリアルイヤーとなります。本社は、岩手県雫石町に位置し、現場事務所として、盛岡軌道センター(十八戸確認車グループ)、宮古軌道センター、盛岡土木センターを設け、平均年齢41歳、総勢60名で安全・施工品質・働きがいNo.1をスローガンに日夜活躍しております。

当社のエリアの盛岡市といえば、The New York Timesの「52 Places to Go in 2023(2023年に行くべき52か所)」で、イギリスの首都ロンドンに続く2番目として紹介されました。当社のある盛岡市の隣の雫石町にも、いいところがたくさんあります。当社から6km北上した先には小岩井農場があり、500m東方にはグランドセイコーを製作している盛岡セイコー工業があります。同社敷地内のグランドセイコースタジオ雫石は、建築家“隈研吾氏”の設計で、見学とオリジナルモデルの購入もできます。冬は雪深くなりますが、町内にスキー場が3か所(網張、岩手高原、雫石)もあり、自然豊かで楽しめる施設も多く魅力あふれる町ですので、ぜひお越しください。そして、近くに来た際にはぜひ当社にもお立ち寄りください。



〈当社の強み〉

当社は、盛岡出張所・宮古出張所管内の在来線のメンテナンスが主力ですが、八戸新幹線出張所管内の確認車業務、盛岡土木出張所管内の土木工事にも従事しております。レール溶接事業も行っており、幅広い工事に対応できること、土木要素強い工事でも土木部門の活躍により対応できることが当社の強みです。多くの分野で柔軟に対応し、これからも元請からの要望に期待以上の成果で応えていきます。



〈トピックス〉

○Web会議システム導入

2022年10月よりWeb会議システムを導入しました。Zoomを使用し、宮古・八戸とつないでいます。現在は所長会議で活用しておりますが、今後は、各種打合せ、助勤時の点呼にも活用していこうと考えており、大型モニターも設置しました。仙建工業各所からのWeb会議や打合せにも対応できますので、ぜひお声掛けください。



○レール溶接事業

当社の強みでもあるレール溶接事業について紹介します。当初は列車間合の長い線区で経験を積み、技能を向上させてきました。現在では、管内で最も間合の短い東北本線の下り線でもGS溶接を安定して施工できるようになり、最近では年間100口を超える溶接を行っています。今年度は、IGR線でもGS溶接を行いました。確かな技能を身につけ一人ひとりが能力を発揮しつつ、一つ一つの手順を丁寧に確認・唱和しながら施工しています。現在は、レール溶接作業責任者1名、レール溶接技術者3名の体制ですが、来年度はさらに責任者と技術者を2名増員し、さらなる施工数増とエリア拡大に取り組んでいきます。



年	2018		2019		2020		2021		2022 見込み	
	GS	GP	GS	GP	GS	GP	GS	GP	GS	GP
口数	56	6	24	0	44	2	115	28	100	0

○宮古軌道センター新築

2021年1月に盛岡地区の本社・軌道・土木の事務所を統合した社屋を新築しましたが、宮古軌道センターの事務所も新しく建築することになりました。現在はレイアウトの検討・価格協議の段階ですが、20周年を迎える当社の設立日7月1日開所を目指し計画を進めています。

〈職場のホープ紹介〉

○佐々木 涼馬(ささき りょうま) 23歳

2021年9月入社で、現在は作業員として従事しています。とても真面目な性格で、分からないことは先輩方に確認し指導を受けながら努力し、日々頑張っています。今年度は、車両系建設機械の資格を取得し、今後は、列車見張員、重機械運転者の資格を取得予定です。今後の活躍が期待される若手です。

(本人コメント)

- 《鉄道経験》 1年6ヵ月
- 《趣味》 釣り
- 《特技》 バスケット
- 《夢》 素敵な家庭をつくる
- 《抱負》 資格をたくさんとる



○岩間 優和(いわま ゆうと) 20歳

2022年5月入社1年目社員です。与えられた仕事をよく理解し丁寧にこなすタイプであり、先輩方の指導等に対し前向きに取り組み、日々成長しています。今後、各種資格を取得し活躍の場を広げ、更なる成長を期待しています。

(本人コメント)

- 《鉄道経験》 10ヵ月
- 《趣味》 バイク、読書(マンガ)
- 《特技》 料理(調理師免許もってます)
- 《夢》 一生平和に暮らす
- 《抱負》 早く戦力になれるよう努力します

